

令和4年度 第5回久御山町上下水道事業経営審議会 議事要旨

日 時	令和5年3月30日（木） 14:00～15:45
場 所	久御山町役場5階 会議室51
次 第	1 開会 2 会長挨拶 3 議事 (1) 令和3年度久御山町水道事業会計決算の報告について (2) 令和3年度久御山町水道事業経営戦略の事後検証について (3) 令和3年度久御山町下水道事業会計決算の報告について (4) 今後のスケジュールについて 4 閉会
出席者	(委員) 西垣会長、伊藤副会長、松若委員、曾和委員、寺井委員、久保田委員、大日方委員 欠席：水野委員 (事務局) 岡本事業環境部長、高山上下水道課長、奥田課長補佐、三上課長補佐、内田課長補佐、岩上係長

会議

1 開会

- ※ 会議成立の報告
- ※ 関係人の出席の確認
- ※ 配布資料の確認

2 会長挨拶

- ・この3年間心配してきた感染症の蔓延もようやく一段落し、また明るい将来が開き始めるのかと期待感を持ちながらやってきた。
- ・令和4年度は主に水道事業ビジョンの改定について議論してきたが、本日は、水道事業及び下水道事業の決算の報告とその検討ということで、またいつもとは異なった観点から意見を出していただきたい。

3 議事

- (1) 令和3年度久御山町水道事業会計決算の報告について
 －事務局説明－
- (2) 令和3年度久御山町水道事業経営戦略の事後検証について
 －事務局説明－

副会長

- ・事後検証の一番最後のページ、経常収支比率や料金回収率の計画値について、令和2年度、7年度に数値が上がっているのは、料金改定が反映されたものというのとはわか

るが、その前後で数値が上下しているのはなぜか。

事務局

- ・経営戦略では、給水収益は徐々に減少すると見込んでおり、基本的に経常収支比率等の数値は料金改定の時期に上がり、その後は下がっていくという繰り返しとなるが、例えばシステム更新など数年に一度実施する事業も計画に見込んでいるため、それが反映し、一時的に数値が上下している。

会長

- ・感染症の蔓延により、令和2年度は有収水量が巣ごもり需要などを踏まえて上がっていたが、もう令和3年度にはだいぶ減少し、元に戻っている。令和4年度の状況はどうか。

事務局

- ・令和3年度は、感染症前の令和元年度と比較するとまだ少し多かったが、令和4年度に関しては、もうほぼ元どおり程度の水量となっている。

(3) 令和3年度久御山町下水道事業会計決算の報告について

－事務局説明－

会長

- ・下水道事業は水道事業と似ているが、例えば他会計からの繰入れがあったり、施設がまだ若くて更新投資等に追われる状況ではなく、また、水量についても、上水の供給水量をはるかに超える有収水量があるなどの違いがあり、経営指標を見ても健全性等がだいぶ高くなっている。
- ・特に処理原価は、水道の給水原価と比べるとだいぶ低く、非常に優秀な値を示している。
- ・水道のように更新投資や耐震化に追われる状況ではないが、長い目でみると同じ状況に入っていく、また、下水道施設は管渠を含めて水道よりも高額であるため、それも心配になってくる。
- ・久御山町の場合、現状のように非常に経営が良好なうちに、将来のための資金を確保しておく努力が必要である。
- ・下水道の有収水量と水道の有収水量の比率は、他の近隣市町と比較してどうか。

事務局

- ・令和3年度実績の有収水量で、水道が約260万立方メートル、下水道が約417万立方メートルとなっており、単純に言えばその差が企業等の地下水利用分となるが、当町には、地下水利用の大口使用者もおられることから、この地下水利用部分が大きく、その結果、低廉な下水道使用料を維持できているという状況である。

委員

- ・水道の方ではコロナ支援対策減免実績額を含むという記載があり、下水道の方にはないのはなぜか。

事務局

- ・コロナ支援対策の減免は、水道の基本料金のみで実施をしているため、下水道の方には記載がない。

- ・コロナ支援対策減免の制度設計の際に、下水道はまだ接続されていない方等もおられることから、水道で実施するのが公平性が高いという結論となり、水道事業のみで実施している。

会長

- ・水洗化率が93%程度とあまり高くはないが、古い住宅だから水洗化はしなくていいという利用者がかなりいるというイメージか。

事務局

- ・合併浄化槽を入れている方も多々おられるため、それを使用しているうちはという分があるかと思う。

会長

- ・時間が経過し、例えば家がリノベーションされたり、空き家が利活用されれば解決していく問題と捉えて良いか。

事務局

- ・リフォーム等の場合には繋いでいただけるよう勧奨活動も進めている。

事務局

- ・勧奨活動も毎年、未接続の方を回るなどしており、今年も130件ほど回っているが、やはり高齢者世帯であるとか、金銭的な問題もあり、なかなか接続が増えないというところもある。

副会長

- ・水道の方に戻るが、建設改良費のリース債務支払額の内容をご教示いただきたい。

事務局

- ・リース債務支払額の対象は、顧客データを管理する料金システムや会計システムなどで、システム構築に当たり本町用にセットアップしており、また、リースにより資金調達しているもので、そのリースが実質はお金を借りているようなもの、いわゆるファイナンスリースのものについて、リース会計で処理することとなり、その元金分の支払額のための科目である。

会長

- ・本年度最後の会議となるため、各委員に一言ずついただきたい。

委員

- ・こういった場が初めてで、わからないことがありながら聞いていたが、やはり会議に出ているからには、例えば町の方々や当社の社員にどのように説明しようかと考えながら参加していた。
- ・今後は、2年目になるので、勉強しながらでも質問をし、他の方々に説明できるようになっていきたいと思っている。

委員

- ・下水道の有収水量のグラフを見て、我々の会社の生産量ともものすごく比例しているという印象を受けた。
- ・一企業の変動で大きな影響を受ける体質であると感じ、やはり久御山町と企業の間で、もっとコミュニケーションを取る必要があると感じた。
- ・これまでコロナなどもあり、話す機会が少なかったが、久御山町には大きな企業が多

くあるので、情報交換のようなことができればもっと良いのではないかという印象を持った。

- ・久御山町のこのエリアの地下水は、水質もちろん良いが潤沢であるということがなにより良く、少々の猛暑でも全く影響を受けないため、我々も助かっている。
- ・いろいろな都合があるため、できるできないという話ではないが、個人的には、もしかしたら久御山町の上水は地下水で自立できるのではないかという思いがした。

委員

- ・施設見学をし、久御山町の地下水はきれいで潤沢だということも教えていただき、また、職員も日々努力し、頑張っているというところを見せていただき、本当にありがたかったと思う。
- ・来年度はもっと勉強させていただき、教えていただいたことを、近所の方々にどう思うかということ、先にパブリックコメントをいただきたいという思いもしている。

会員

- ・来年度も水道ビジョン作成に向け、よろしくお願ひしたい。

委員

- ・令和3年度の水道の純利益が前年度に比べ大きく落ちていることについて、府営水道の料金単価が上がったことが要因とのことであつたが、実は府営水道の単価は段階的に上げており、3年度は過渡期になっている。
- ・建設負担料金の単価が、元々44円/m³が、令和3年度に50円/m³になり、実は令和4年度には55円/m³と、あと1段階上がることになる。
- ・令和3年度、50円/m³の段階で決算がぎりぎりの状況となつていて、令和4年度にもう1段階上がれば赤字になるのではないかという心配がある。
- ・足元ではエネルギー単価等が不安定な状態になっており、府営水道でも近い将来そういったコストもまた見ていかなければならず、これは久御山町の水道にも関わってくるが、その辺りの今後の展望はどのように考えておられるのか。

事務局

- ・更新投資と企業債と料金改定のバランスの中で、料金改定を抑えたいが、やらなくてはならない更新があり、企業債についても、多く借りれば今はしのげるが、後世に負担をかけるということになる。
- ・そういったことも含めて、次回の審議会からご審議いただく中で、町でも住民や企業にとって良い判断をさせていただきたいと考えている。

副会長

- ・施設見学もした中で、この地がいろいろな点で恵まれているという印象を持った。
- ・1つは、自己水源が質、量ともに良好であるということ。
- ・地形的に山間地がなく、水の位置エネルギーを利用することはできないという制約があるが、一方で、水を高いところに上げて配水する必要がないため、比較したことはないが、動力費は抑えられるのではないかと思う。
- ・令和7年度の料金改定が段々近づいているが、これをいかにスムーズに行うかということ、そのための準備、体制作りが大きな課題であり、ビジョンの中でもそういうものを盛り込んでいくのが望ましい。

会長

- ・令和2年の料金改定をお願いするに当たり、その見返りとして更新投資、耐震投資を進めていく、すなわち次世代の人に良好な水道のアセットを残すという議論をしていたが、府営水道も更新投資を進める中で料金改定したという状況で、コロナ禍を迎え、本日の水道事業の決算報告となったという思いがした。
- ・しかし同時に、久御山町は耐震化投資、更新投資を進めており、近隣市町村や全国の市町村と比べても安心・安全は高く、また、府営水道との関係では、広域ポンプ場も近く、安心・安全の備えは非常に高い。
- ・久御山町の町民には非常に安心・安全な水が提供できる状況で、これまで議論してきたことが実現していると思うところである。

(4) 今後のスケジュールについて

－事務局説明－

4 閉会

※ 閉会の挨拶

事務局

- ・昨日、町議会において新年度予算を可決いただき、令和5年度の事業推進の準備ができた。
- ・本審議会では、令和4年8月に皆様に委員として就任いただき、水道事業ビジョン（第2次）の審議を賜り、浄水場の施設見学もしていただいた。
- ・令和5年度は、水道事業ビジョンについて、投資・財政計画のシミュレーションを引き続き重ね、具体的な施策などを検討し、その後、広くパブリックコメントを実施した後、審議会から答申をいただき、策定する予定となっている。
- ・策定に際しては、水道料金の改定率と改定期も審議の対象となってくるため、引き続きお願いしたい。

【散会】

以 上